

御代田再構築をかかげ 小園町政スタート

就任あいさつ

御代田町長 小園 拓志



2月17日(日)の御代田町長選挙で初当選を果たした小園拓志町長が、2月28日初登庁しました。小園町長は午前8時30分に役場へ到着し、町民の皆さまや役場職員の拍手に迎えられ、役場へ入りました。その後行われた、職員に向けた訓示では、町政運営の指針を示しました。引き続き、課長会議やあいさつ回りなど、就任初日から精力的に公務をこなしました。



このたびの任期満了にともなう町長選挙で、若輩ではありますが私が新たに町政を担うこととなり、2月28日、初登庁させていただきました。4千人を超える皆さまの力強い応援をいただいた結果であり、あらためて身が引き締まる思いです。一方で、3千人を超える方々が前職であります対立候補に票を投じたこともまた事実であり、今後の町政運営に関してそういった皆さまからもしつかりとご意見を賜っていくことを肝に銘じてまいります。町民全体のパワーを町政に結集すれば、できないことはないと思っております。町民の皆さまのお力

添えを切にお願い申し上げます。

私は、長く新聞記者を続けてきた人間であり、人の話を「聞く」ことを自らの仕事の中心に置いてきました。昨年9月に移住して以来、町の中をくまなく歩き、選挙権を得たばかりの18歳の若者から90歳を超える大先輩まで、多くの皆さまの「声」を拾ってまいりました。それらの声が、私の「背骨」をつくりあげていますし、実際にこれから、町政を担っていく基本的な視座になっていくわけです。

乳幼児を育てている最中の若いお母さんたちとは本当によく対話しました。その中でよく言われてきたのが、子育てしやすい町というスローガンはあるが、実態は大きく違う、という声でした。

例えば、不妊治療に関する助成や、妊産婦医療費への助成などが、御代田に引越

してきたがゆえに受けられなくなった、というお話がありました。

一見細かいながら大事なだと思っただけ、公園のトイレの使い勝手です。小さなお子さん連れだとおむつ替えをする台が必要ですし、お母さんが用を足しているとき、お子さんを安心して座らせておけるシートも必要ですが、いずれも利用している公園のトイレにはないとのことでした。その結果、児童館に行くまで子どもにトイレに行くことを我慢させている、というお話でした。

私は、そういった利用者のじかの声をダイレクトに町政に採り入れることが大事なのだと思われました。子育てや教育が最重要、という私のお訴えは、こういった対話を基に生まれたものです。

施策に関しては、代表的なもののみを次のページに記載します。

子育て・教育分野

子育てに関しては、いわゆるスペシャリストのあるお子さんを中心に、気軽に子育て相談できる場が必要と考え、「子育て相談室」の立ち上げを訴えてきましたが、国が設置に向けて進めている「子育て世代包括支援センター」との整合性を取りつつ、前へ進めてまいります。妊娠中のお母さんが多くの部署を渡り歩くようなことにならないよう、ワンストップサービス化できるように検討してまいります。

小中学生の給食費無料化と高校生の通学費の補助に関しては、大きな予算が必要となりますが、財源の確保に努めるとともに、できるところから少しずつ、段階的に進めていくことが重要だと考えております。

教育に関しては、学力向上に専念できる環境づくりのため、いじめや不登校に関する対応が、まずは重要だと考えております。専門家を招いたチームを形成し、いじめや不登校の解消に関し、具体的な成果を上げていけるよう進めてまいります。

その上で、公設塾「放課後寺子屋」についての取り組みを進めてまいります。はじめのころは「プレ寺子屋」と称し、子どもの知的好奇心を刺激するような、遊びやゲーム、職業体験を通じた学びを進めていきます。

防災力を高める

インフラ整備

次に、防災力を高めるインフラ整備です。気象庁から大規模噴火の可能性が高まった等の情報提供があった場合、近隣自治体等への広域避難の必要が出てまいります。庁内各地域にある、車の行き違いが難しい狭い道路をそのままにしておきますと、いざというときにそこが弱点となり、逃げ遅れが生じるリスクがあります。

今後の道路整備にあたっては、そういった防災力の向上という観点ももって箇所を選定や施工方法の選定を行っていく必要があるものと考えております。

県道についても狭い箇所などがありますので、県に働きかけを強めてまいります。

しなの鉄道御代田駅の駅舎の改修や駅前再開発に関して、も町の「顔」をつくる観点から魅力のあるまちづくりに資するものと考えます。

農商工業分野

農商工業の振興は、歳入の確保につながり、結果的に福祉の充実につながりますのでぜひとも成し遂げるべきものと考えます。

農業に関しては、コスト抑制への支援と、収入増に向けた具体的な方策が重要だと考えており、情報通信技術の導入支援や、高原野菜などのさらなるブランド力アップに向けた取り組みが重要だと思います。

商業に関しては、駅前再開発に加えて、商工会との連携を密にしていくことも検討していきます。

工業に関しては、工場建設時などの固定資産税相当額の奨励補助金の増額をし、設備投資の促進と長期にわたる税収増を目指して参ります。

本日に代表的なもののみをここに記しましたが、町政の幅は相当広いものであり、例えば、高齢者福祉についてもこれまで以上にきめ細かなケアをしていく必要性を感じております。全体を通して、スピーディーに展開できる課題から、じっくりと時間をかけて取り組んでいくべき課題まで、ロードマップをしっかりと定めてできるだけ遅れのないように進めてまいりたいと考えております。私の生命線であり「聞く力」は、役場内外で広く発揮してまいりたいと考えておりますので、町民の皆さまの叱咤激励をいただけましたら幸いです。